

# 「自分らしいって、いいね！」

藤岡市立小野中学校

3年 高野 礼愛

皆さんは、「自分らしい」とはどんなことだと思いますか。自分の好きなものを好きと言えること、やりたいことをやれること、誰かに合わせるのではなく自分が思うままに生きられること。私はそれが、「自分らしい」ということだと思います。今社会では、多様性を意識しようだとか、誰もが自分らしく生きられる社会にしよう、ということが唱えられています。しかし、自分らしく生きたくても生きられない、という人は、まだまだたくさんいるのではないのでしょうか。

私は小さい頃から、周りの女子とは違っているところがありました。好きなものはライオンやトラ、恐竜。髪型やファッションには無頓着です。普段の会話に使う一人称は僕、又は俺。そんな私は、周りから浮いてしまうことが多く、陰口の対象になってしまうこと、心無い言

葉をかけられることもありました。もともとメンタルが強くない私は、何度も心が折れかけました。ニュースやインターネットでは、「多様性を大切に」「自分らしさを大切に」と言われているのに。好きなものを好きといっただけ。自分の使いやすい一人称を使っただけ。なのに、どうして悪く言われれないといけないのだろうか。

そんな事を考えて悩んでいたとき、私は一つの言葉をかけてもらいました。ダンスのイベント終わりのことでした。その作品でキャストだった私は、ステージを終えての感想を言うことになりました。ですが、緊張していたこともあり、普段多くの人がいる前では使ってこなかった、「僕」という一人称を、思わず使ってしまった。話し終わったあとに気がついて、変だと思われたかな、ととても不安になりました。その時は何事もなく終わったのですが、しばらくしたあとに聞いていた人から、「礼愛ちゃんって、僕っていうんだ？」と聞かれてしまいました。私がドキドキしながら頷くと、その子は「いいね、礼愛ちゃんらしい！」と言ってくれました。誰もが変だと思っていると考えていた私は、その言葉にひど

く驚きました。それと同時に、認めてくれる人もいるんだ、ということに気付かされました。

それからの私は、前よりも周りの目を気にせず、自分らしく生活ができるようになりました。悪く言ってくる人もいるし、ときにはそんな言葉や、変だという目で見てくる視線が気になってしまうこともあります。ですが、そんなときは「いいね」の言葉を思い出し、私が悪いわけじゃない、認めてくれる人もいるんだ、と考えて立ち向かっています。

さて、社会では先程言った通り、「多様性」「自分らしさ」を大切にしようという動きが徐々に広がっています。私の学校でも、女子がスカートではなくズボンを着用できるようになったり、名簿や席順が男女混合になったりしています。社会全体で見ても、性別や年齢、国籍、障害の有無に関わらず仕事ができるようにしたり、誰もが働きやすい環境を整えたりと、多くの取り組みがあります。ですが私は、社会や学校が動いてもあまり意味はないと考えます。どんなに新しい制度を作ろうが、私達ひとりひとりが多様性や自分らしさを尊重しないと、なにも変わりません。他の人と違うものを排除しようとし

たら、どんなに素晴らしい制度や取り組みがあっても、何も変わっていかないのです。

では、私達には何ができるでしょうか。私はまず、相手のことを知ることからはじめるのが良いと思います。人間は、よく知らないものを本能的に恐れます。怖いから排除するのなら、知ればいいのです。どうして好きなのか、どうしてそう考えるのか、どうしてそうするのか。たくさん知ってください。たくさん知ったら、次は認めてみてください。自分と違った考えであっても、「それもいいね」と認めるだけで、相手の自分らしさを尊重することができます。知って、認める。これが、多様性や自分らしさを大切にできる社会の合言葉であると、私は思います。

人はそれぞれ違って当たり前です。自分と違うことを恐れずに、認めてみてください。そうしたら、きっと相手もあなたを認めてくれます。みんなが知って、認め合える社会。それが、みんなが「自分らしい」「世界なのではないでしょうか。さあ、皆さんも伝えてみてください。「あなたらしくて、いいね！」